1. はじめに

WindowsXP SP2 で、 μ EDX ソフトウェアを動作させるためには、本書に記載する設定が必要になります。

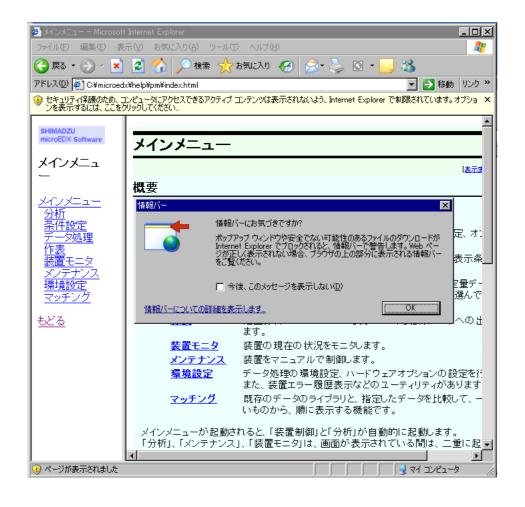
【WindowsXP SP2 インストールにより発生する問題】

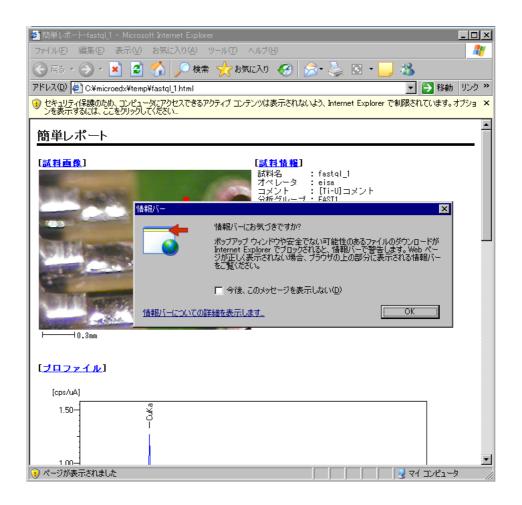
WindowsXP SP2 をインストールされますと、 μ EDX ソフトウェアにおいて3つの問題が発生します。

① μ EDX プログラムの起動時に、次のメッセージが表示され μ EDX 本体との通信ができなくなります。



②ヘルプ画面を表示する際に、次のようなメッセージが表示され一部機能が動作しなくなります。





これらの問題を解決する手順を以下、順にご説明します。

2. μEDX 本体との通信ができなくなる問題の回避方法

PCのファイアウォールの設定を無効にする

PC が置かれた職場の LAN がすでにファイアウォールに守られている場合に、個々の PC の WindowsXP ファイアウォール機能を無効にする場合です。

PCのファイアウォールの設定は有効にしながら例外の設定を行う

セキュリティを高めるために、PCのWindowsXPファイアウォール機能を有効にしながら、サービスを行うプログラムごとに設定を行う場合です。

2.1 ファイアウォールを設定しない場合

企業でご使用される場合、ほとんどの企業では、すでにファイアウォールが構築されているはずです。こういう場面においては、基本的に Windows ファイアウォールを設定する必要はないものと考えます(Windows ファイアウォールは個人がルータなしで直接インターネット接続した場合の攻撃を防ぐためのものであり、ルータが存在する場合は、ルータでファイアウォールを設定し、個々のPCでファイアウォールを設定する必要はありません)。

そこで、ファイアウォールの設定を無効にし、WindowsXP SP2 による動作不良を回避します。以下は、その手順です。

【ファイアウォールの設定を無効にする方法】

- 1) Administrator で Windows にログオンする。
- 2) スタートメニューから [設定] → [コントロールパネル] と操作し、コントロールパネルを表示させる。
- 3) Windows ファイアウォールを開く。

(LUNA モードのときは、コントロールパネルをクラシック表示に切り替えてから Windows ファイアウォールを開いてください)

4) [全般] タブで「無効」のラジオボタンを選択し、[OK] ボタンを押す。

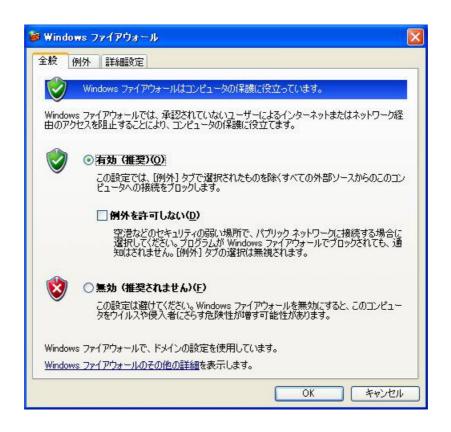


2.2 ファイアウォールを設定する場合

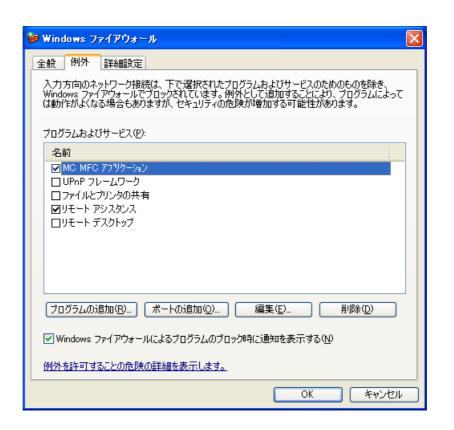
Windows ファイアウォールをご使用される場合は、Windows XPのファイアウォールを設定するとともに、サービスを提供するプログラムごとに設定を行う必要があります。なお、Windows が提供するネットワークサービス機能(ファイル共有など)については、そのサービスを設定した時点で必要な設定を行いますので、標準的な機能については設定の必要性はありません。

【ファイアウォールを有効にしながら設定する方法】

- 1) Administrator でWindows にログオンする。
- 2) スタートメニューから [設定] → [コントロールパネル] と操作し、コントロールパネルを表示させる。
- 3) Windows ファイアウォールを開く。
 (LUNA モードのときは、コントロールパネルをクラシック表示に切り替えてから Windows ファイアウォールを開いてください)
- 4) 「全般」タブで「有効」のラジオボタンを選択し、「例外を許可しない」のチェックを外します。



5) [例外] タブで、プログラムおよびサービスに"MC MFC アプリケーション"があるか確認します。 あればチェックを入れた状態で[OK] ボタンを押し、Windows ファイアウォールを閉じます。

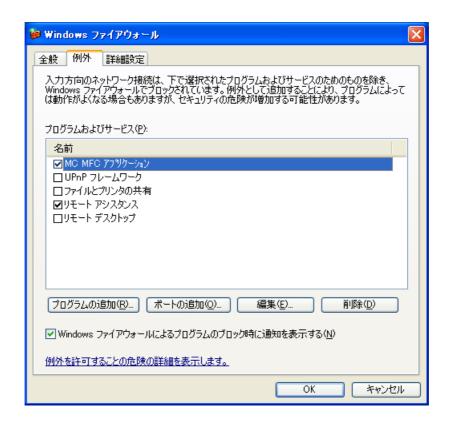


なければ、以下の設定を行います。

6) [プログラムの追加] ボタンを押し、[参照] ボタンを押し、 C: ¥microedx¥bin¥mc. exe を追加します。



7) "MC MFC アプリケーション" にチェックを入れた状態で、[OK]ボタンを押し、Windows ファイアウォールを閉じます。



3. ヘルプ画面、簡単レポート画面にて一部機能が動作しなくなる問題の回避方法

インターネットエクスプローラの詳細設定を変更する。

手順は次のとおりです。

- 1. インターネットエクスプローラの「ツール」メニューから、「インターネットオプション」を選びます。
- 2. 詳細設定タブを選択し、セキュリティの中の「マイコンピュータのファイルでのアクティブコンテンツの 実行を許可する」 についてチェックを入れ、「OK」をクリックします。



以上。